

行政提案型協働事業（平成22年度実施事業）
平成21年度 協働事業審査会 議事録

日 時 平成21年10月11日（日）午後2時30分から午後4時00分まで
場 所 ひらつか市民活動センター

（1）地場産の花を理解する農業理解促進事業「花育」（農水産課）

[審査委員からの意見等]

- ・生産現場を市民に知っていただくため、トマトやキュウリなど野菜関係は行政が実施しているが、花関係は今までなく、また、温室カフェや花カフェなど目新しい提案は非常に良いと思った。
- ・生産現場のバスツアーを数多く考えられているが、それだけの回数が必要なのと感じる。
- ・今まで実施してない取り組みということで、先進性では非常に意味がある。
- ・平塚はバラも含め、いろいろな種類が豊富で、温室施設営業など県内でも盛んである。それを市民に知ってもらう提案が、行政からではなく市民から出てきたのは良い。
- ・企画内容が多く、しかも、それぞれのテーマごとに年間スケジュールが示されているが、実際に行うとなると大変なように感じた。

審議の結果、審査員の総意により次のとおり各項目の採点がされ、花育ボランティア花伝道師の事業の採択が決定された。

団 体 名	企画内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の能力	計
花育ボランティア 花伝道師	5	4	4	4	4	21

（2）防災講演会の開催（防災危機管理課）

[審査委員からの意見等]

- ・この団体は、防災に強い平塚のまちづくりをテーマにスタートして、今年で6年目に入り、実績があり、本当に一生懸命に活動している。
- ・21年度にいろいろ取り組み、アンケート等をとって地域の実状を把握してきた団体なので、それらをもとに一歩進んだ市民の目線のフォーラムを実施して欲しい。
- ・自治会などへ電話したり実際に訪問したり、地域に結構入り込んでいる。なかなか行政では、いろいろな地域にここまで入って話し合いできないので、それ自体意味のあることだと思う。
- ・今年度のフォーラム開催はこれからであり、それらの状況を検証して、22年度に繋げていただきたい。

審議の結果、審査員の総意により次のとおり各項目の採点がされ、ひらつか防災まちづくりの会の事業の採択が決定された。

団体名	企画内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の能力	計
ひらつか防災まちづくりの会	4	4	4	4	4	20

(3) 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 (人権・男女共同参画課)

[審査委員からの意見等]

- ・21年度実施し、2年連続の提案ということになるが、21年度の「ひらひらおぼけとつかつかおぼけ」の幼稚園での上映は非常に良かったと聞いている。
- ・紙芝居が小さかったので、倍くらいもっと大きく作った方が良いのではと思う。また、発行部数ももっと多くしても良い。
- ・SCNや新聞にも取り上げられ社会的にも影響力があり、予算が大きく掛からなくて効果がある良い提案事業であると思う。

審議の結果、審査員の総意により次のとおり各項目の採点がされ、平塚てづくり紙芝居の会の事業の採択が決定された。

団体名	企画内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の能力	計
平塚てづくり紙芝居の会	4	4	4	4	4	20

(4) シニア向け市民活動入門プログラムの実施 (協働推進課)

[審査委員からの意見等]

- ・団塊の世代が地域デビュー、市民活動デビューになるようなきっかけとなるための提案であり、十分評価できるが、参加対象を男性だけに限定してしまっているのか。
- ・講座内容をみると、仲間集めや会員集めという色彩も感じるのので、もう少し市民活動へ結びつくような内容を検討していただきたい。
- ・定員を30～40名でそれ以上こられては困ると言われていたが、シリーズ講座だけではなく、逆に大勢の市民の方に市民活動をPR出来るような場があっても良い。
- ・総合的に、このままの採択は難しいと思う。条件というか、多少の修正をして企画を発展させてもらってはどうか。

審議の結果、審査員の総意により次のとおり各項目の採点がされ、平塚MACの提案事業を下記の条件付きで採択することが決定された。

団体名	企画内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の能力	計
平塚MAC	3	4	4	4	4	19

採用条件

- 1、参加者については、男性限定とせず、女性の参加を考慮に入れること。
- 2、参加者の人数については、広く市民を対象とした内容も含めて検討すること。
- 3、講座に、参加者が市民活動を行うきっかけに繋がるような内容を加えること。

※備考

上記の条件付きで採択された「シニア向け市民活動入門プログラムの実施」については、団体と担当課で再三にわたり協議を行ったが、審査会で付けられた条件で実施することは困難なので辞退したいと団体側からの申し出があったため、今回の事業は実施しないこととなった。

(5) こころと命のサポート事業「自殺対策啓発事業」 (くらし安全課)

[審査委員からの意見等]

- ・この団体は浜岳中学校区の活動を今までしていて、提案も浜岳中学校区の内容だけで、あとは全市的に継続していくということだったが、その点が気になった。
- ・浜岳地区限定という訳ではなく、先駆的にモデル地区として事業を実施していただき、読書活動推進協議会としてのネットワークがあるので、他地区にも波及して全市に広がって欲しい。
- ・自殺対策に特効薬はなく子どもの頃から命の大切さを育むという部分を、モデル地域を通じながら、事業の趣旨が波及していくという効果を大いに期待している。

審議の結果、審査員の総意により次のとおり各項目の採点がされ、浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会の事業の採択が決定された。

団体名	企画内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の能力	計
浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会	3	4	4	4	4	19

【審査基準】

協働事業の審査については、以下の項目を点数化したものとする。

項目	審査のポイント
企画提案の内容	協働で実施することが適当であり、協働することによって課題解決、市民サービスの向上を図ることができる企画内容であるか。
実現性	事業を計画どおりに実施することが可能であるか。
役割分担	団体と市の役割が明確になっているか。
費用の妥当性	適切な費用の積算となっているか。
団体の実施能力	事業遂行にあたり、必要な能力を有している団体であるか。

- ・ 企画提案の内容
団体から提案された事業が、市と団体が協働して実施することが適当であるかどうか。
また、協働することにより課題の解決、市民サービスの向上を図ることができる企画内容であるかどうか。
- ・ 実現性
事業を協働で実施するにあたり、無理のない計画で実現性に問題ないか。
- ・ 役割分担
団体と市の役割が適切となっており、それぞれの専門性を活かすことができるような役割分担となっているかどうか。
- ・ 費用の妥当性
団体が積算して必要とする費用が、適正に算出されているかどうか。
- ・ 団体の実施能力
事業を遂行するにあたり、必要な専門的な知識や経験を有している団体かどうか。

上記5つの項目について、各5点として採点し、(25点満点) 審査会で協議し、決定するものとする。ひとつの項目でも1点(とても劣っている)があった場合は不採択とする。また、採点の結果、15点未満の事業は不採択とする。

5点	4点	3点	2点	1点
とても優れている	優れている	普通	劣っている	とても劣っている